

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久利まちづくりセンター			No.	1
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	中央
地区	久利

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	中断
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当施設は、耐震基準及び建築基準法の基準を満たしておらず、⑤複合化（久屋小学校等との複合化）または⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて、 学校再編等の状況を考慮しながら、引き続き検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)		施設整備のスケジュール構成を修正した。
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組中)	学校再編等の状況を考慮し、整備の方向性を改めて決定する。
	2025年度 施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組中)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和28年
建物延面積	601.76 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(基準未滿)
Is値	0.29
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため。
適正化計画上の実施方針	近隣施設内への機能移転を行い、現施設は廃止を原則とする。ただし、機能移転が困難な場合は、必要最小限の建て替えを行い、類似機能などの共有化を検討する。

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	155,500円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	224,200円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		379,700円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	1,819,400円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,305,896円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		3,125,296円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,745,596円	市民一人あたり税金充当額	-88円/人
	延床面積あたり税金充当額		-4,563円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-7,522円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	4,350	5,036	5,148	3,739	4,428	4,540	97%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	波根まちづくりセンター			No.	2	
大分類	01市民文化系施設					
小分類	まちづくりセンター					
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称				
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	東部
地区	波根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当施設は、耐震基準を満たしておらず、⑤複合化（朝波小学校等との複合化）または⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて、学校再編等の状況を考慮しながら、引き続き検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	学校再編等の状況を考慮し、整備の方向性を改めて決定する。
	2025年度 施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和26年
建物延面積	504.53 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(基準未滿)
ls値	0.35
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため。
適正化計画上の実施方針	近隣施設内への機能移転を行い、現施設は廃止を原則とする。ただし、機能移転が困難な場合は、必要最小限の建て替えを行い、類似機能などの共有化を検討する。

##### 【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	106,500円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	89,141円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		195,641円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	660,000円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	864,836円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,524,836円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,329,195円	市民一人あたり税金充当額	-43円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,635円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-3,642円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	3,400	3,480	3,454	3,965	3,976	3,655	108%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁万まちづくりセンター			No.	3
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
有	計画名				計画期間
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当する	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当施設は、耐震基準を満たしているものの、老朽化が進行しており、④（仁摩支所との統合）、⑤複合化（近隣の公共施設（仁摩生涯学習センター、農村環境改善センター、保健センターとの複合化）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組中)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和47年
建物延面積	1,152.00 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	0.82
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	280,500円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	43,354円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		323,854円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	551,211円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		551,211円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-227,357円	市民一人あたり税金充当額	-7円/人
	延床面積あたり税金充当額		-197円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-623円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	5,243	6,057	6,826	6,691	6,658	6,295	105%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	宅野まちづくりセンター			No.	4	
大分類	01市民文化系施設					
小分類	まちづくりセンター					
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称				
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由	施設評価結果に基づき、作成を検討する予定。

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	仁摩
地区	宅野

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。当施設は、耐震改修済みであるものの、老朽化が進行しており、④統合（仁摩伝統芸能伝承館との統合）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和55年
建物延面積	566.25 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(耐震済)
Is値	0.79
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	118,000円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	29,460円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		147,460円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,064,150円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,064,150円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-916,690円	市民一人あたり税金充当額	-29円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,619円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,511円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	1,983	1,740	1,779	2,156	2,995	2,130	140%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	佐津目バス車庫			No.	5
大分類	14その他(普通財産を含む)				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	三瓶
地区	山口

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	調整中
『該当する』を 選択した理由	現在は、石見交通(株)の山口線のバス回転場として使用していることから、建物は解体しても支障はない。しかし、市や石見交通(株)以外の所有となると、バス回転場として使用できなくなることから、民間移管については、石見交通(株)に限定されるが、意向はない。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2027年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について検討 (関係機関と協議)		地元住民に地域移管の意向を確認したが、意向はないとのことだった。石見交通はバス回転場として土地の継続使用を希望しているが、建物は使用しておらず建物の移管は困難。
第2期	2024年度 施設の在り方について検討 (関係機関と協議)	用途廃止済(解体未)	将来的に建物を解体したとしても、土地の管理(草刈り等)が発生するとともに石見交通は回転場として使用を継続。
	2025年度 施設の在り方について検討 (関係機関と協議)	用途廃止済(解体未)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 29 年
建物延面積	110.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	土石流警戒区域内に立地

関連条例等	—
設置(目的等)	路線バス終点地である旧佐津目分校校舎を車庫として利用するため。
適正化計画上の実施方針	民間移管または地域移管を原則とする。ただし、民間移管、地域移管が困難な場合は現施設を廃止する。

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,864円	保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,864円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,864円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-26円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-8円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田バス線車庫			No.	6	
大分類	14その他(普通財産を含む)					
小分類	その他					
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称				
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由	解体予定のため

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	地元も移管を受ける意向がないため廃止とする。倒壊の危険性が高まったため令和7年度中に隣接する消防倉庫の解体に合わせ車庫も解体する。 R7.11.26解体済								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2025年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について検討 (関係機関と協議)		建物の解体あるいは民間移管の方針だが、地元住民に地域移管の意向を確認したが、意向はないとのことだった。
第2期	2024年度 施設の在り方について検討 (関係機関と協議)	目標未達成(取組中)	解体時期について検討
	2025年度 倒壊の危険性の高まりにより早期の解体を行う。隣接する消防倉庫の解体に合わせ実施する。R7.11.26解体済	目標・取組を達成	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 29 年
建物延面積	64.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	大田市生活バス運行に関する条例
設置(目的等)	地域住民の交通手段の確保を図り、公共の福祉に資するため設置する生活バス運行事業の実施
適正化計画上の実施方針	民間移管または地域移管を原則とする。ただし、民間移管、地域移管が困難な場合は現施設を廃止する。

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	14,971円	保険料、水道料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		14,971円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-14,971円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-234円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-41円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	富山まちづくりセンター			No.	7
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	東部
地区	富山

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	⑤複合化	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当該施設は、旧井田小学校活を用いているものの、老朽化が進行しており、⑤複合化（近隣の公共施設との複合化）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかに ついて検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	旧富山小学校へ移転改修工事実施。 R2.1月～移転先にて富山まちづくりセンター業務の開始。		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の協議 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	2,035.40 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	令和元年度、まちセン部改修

関連条例等	①大田市多目的集会施設の設置及び管理に関する条例 ②大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	①地域農業振興並びに地域連帯意識の高揚及び生活の改善により、健康で文化的なまちづくりを図るため ②大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	近隣施設内への機能移転を行い、現施設は廃止を原則とする。ただし、機能移転が困難な場合は、必要最小限の建て替えを行い、類似機能などの共有化を検討する。

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	102,600円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	84,565円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		187,165円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,134,468円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,134,468円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,947,303円	市民一人あたり税金充当額	-62円/人
	延床面積あたり税金充当額		-957円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-5,335円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	1,504	1,582	1,599	2,419	2,295	1,879	122%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	志学まちづくりセンター		No.	8
大分類	01市民文化系施設			
小分類	まちづくりセンター			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
有	計画名			計画期間
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり
			策定しない場合 理由	施設評価結果に基づき、作成を検討する予定。

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	処理完了
『該当する』を 選択した理由	志学小・中学校校庭内に縮小建て替えを行い、2021年度から新志学まちづくりセンターとして開所済み。 現施設は、急傾斜地の崩壊警戒区域に立地、特別警戒区域に隣接しているため、廃止が妥当と判断される。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	新施設へ機能移転		
第2期	2024年度 施設の解体について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	用途廃止済(解体未)	
	2025年度 施設の解体について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	用途廃止済(解体未)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 48 年
建物延面積	257.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(基準未滿)
Is値	0.25
摘要欄	急傾斜地の崩壊警戒区域に立地、特別警戒区域に隣接

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	近隣施設内への機能移転を行い、現施設は廃止を原則とする。ただし、機能移転が困難な場合は、必要最小限の建て替えを行い、類似機能などの共有化を検討する。

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	北三瓶まちづくりセンター			No.	9
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	三瓶
地区	山口

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当する	該当する	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 また、施設内には山口診療所が存在し、耐震基準は満たしているものの、老朽化が進んでいることから、⑤複合化（北三瓶小・中学校等との複合化）または⑥縮小建 替え（適正規模の施設）のいずれかについて、学校再編等の状況を考慮しながら、引き続き検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	トイレについて、男女を区別し、水洗化を行う。		トイレの改修工事を実施。
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	学校再編等の状況を考慮し、整備の方向性を改めて決定する。
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 58 年
建物延面積	220.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震基準
Is値	-
摘要欄	土石流警戒区域内に立地 急傾斜地の崩壊警戒区域、特別警戒区域に隣接

関連条例等	①大田市多目的集会施設の設置及び管理に関する条例 ②大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	①地域農業振興並びに地域連帯意識の高揚及び生活の改善により、健康で文化的なまちづくりを図るため ②大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	28,200円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	16,070円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		44,270円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	553,332円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		553,332円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-509,062円	市民一人あたり税金充当額	-16円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,314円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,395円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	411	449	687	1,852	2,208	1,121	196%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	北三瓶まちづくりセンター多根分館			No.	10
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	三瓶
地区	多根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	地域(多根自治会)移管済。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	多根自治会へ移管		地域移管済
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 10 年
建物延面積	415.27 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(基準未滿)
ls値	0.22
摘要欄	土石流警戒区域内に立地

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	廃止とする。(北三瓶まちづくりセンターに機能統合)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	水上まちづくりセンター			No.	11	
大分類	01市民文化系施設					
小分類	まちづくりセンター					
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称				
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由	施設評価結果に基づき、作成を検討する予定。

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	高山
地区	水上

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 また、耐震工事实施済みであるものの、老朽化が進んでいることから、⑤複合化（第三中学校等との複合化）または⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて、学校再編等の状況を考慮しながら、引き続き検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	学校再編等の状況を考慮し、整備の方向性を改めて決定する。
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 52 年
建物延面積	363.07 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(耐震済)
Is値	1.25
摘要欄	耐震化実施済み 急傾斜地の崩壊警戒区域内に立地

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	79,611円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	81,430円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		161,041円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	851,760円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		851,760円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-690,719円	市民一人あたり税金充当額	-22円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,902円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,892円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	4,895	4,613	3,559	4,311	5,066	4,488	112%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大代まちづくりセンター			No.	12
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	高山
地区	大代

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	調整中
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。当施設は、耐震基準を満たしておらず、⑤複合化（旧大代小学校等との複合化）または⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて、学校再編等の状況を考慮しながら、引き続き検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 55 年
建物延面積	350.49 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(基準未滿)
Is値	0.48
摘要欄	

関連条例等	①大田市多目的集会施設の設置及び管理に関する条例 ②大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	①地域農業振興並びに地域連帯意識の高揚及び生活の改善により、健康で文化的なまちづくりを図るため ②大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	近隣施設内への機能移転を行い、現施設は廃止を原則とする。ただし、機能移転が困難な場合は、必要最小限の建て替えを行い、類似機能などの共有化を検討する。

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	175,900円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	77,550円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		253,450円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	786,343円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		786,343円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-532,893円	市民一人あたり税金充当額	-17円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,520円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,460円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	2,190	2,470	2,159	2,382	3,313	2,502	132%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大国まちづくりセンター			No.	13
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
有	計画名				計画期間
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	仁摩
地区	大国

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。当施設は、耐震補強済みであるものの、老朽化が進んでおり、近隣に統合又は複合化可能な施設が無いため、⑥縮小建替えによる建て替えを検討していく必要がある。併せて、②民間移管・③地域移管についても検討が可能。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 56 年
建物延面積	366.00 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(耐震済)
Is値	0.79
摘要欄	土石流警戒区域内に立地

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	34,300円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	12,010円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		46,310円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	6,600円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,030,625円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,037,225円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-990,915円	市民一人あたり税金充当額	-32円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,707円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,715円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	1,059	849	835	792	797	866	92%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	旧坂根邸		No.	14
大分類	01市民文化系施設			
小分類	交流・イベント施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
有	計画名			計画期間
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	中央
地区	川合

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	②民間移管	開始前
『該当する』を 選択した理由	耐震基準を満たしていない施設であり、現在は地域でも使用していないため、廃止を原則とする。 なお、民間企業から古民家としての価値に対する問い合わせもあるため、②民間移管を検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2028年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		これまで数回、民間企業等から古民家活用の話を受けているが、現地確認から先に進まず、立消えとなった。当該地ではヒ素が検出されており、水道も無いことから、今後も活用は困難と思われる。
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	不明年
建物延面積	366.67 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	-
設置(目的等)	-
適正化計画上の実施方針	民間移管または地域移管を原則とする。ただし、民間移管、地域移管が困難な場合は現施設を廃止する。

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	19,248円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		19,248円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-19,248円	市民一人あたり税金充当額	-1円/人
	延床面積あたり税金充当額		-52円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-53円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田まちづくりセンター			No.	15
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
有	計画名				計画期間
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	⑤複合化 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	サンレディー大田の廃止に関連し、2024年度より働く女性の家部分を大田まちづくりセンターとして開設済み。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	2024年度より働く女性の家部分を大田まちづくりセンターとして開設済み。		旧サンレディー大田へ移転済み。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 38 年
建物延面積	340.41 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	0.83
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設写真】

※写真は、市民会館、市民センターを参照

※大田まちづくりセンターは、大田市民会館内に所在

## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津まちづくりセンター			No.	17	
大分類	01市民文化系施設					
小分類	まちづくりセンター					
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称				
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由	施設評価結果に基づき、作成を検討する予定。

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当する	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当該施設は、耐震基準を満たしているものの、老朽化が進行しており、④(温泉津支所との統合)、⑤複合化(近隣の公共施設との複合化)、⑥縮小建替え(適正規模の施設)のいずれかについて検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2030年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組中)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和56年
建物延面積	1,733.42 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	0.85
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	462,405円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	1,050円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		463,455円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,192,457円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,192,457円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-729,002円	市民一人あたり税金充当額	-23円/人
	延床面積あたり税金充当額		-421円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,997円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	7,866	7,156	4,878	5,061	5,729	6,138	93%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	鳥井まちづくりセンター			No.	147
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	西部
地区	鳥井

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当施設は、耐震基準を満たしているものの、老朽化が進行しており、⑤複合化（近隣の公共施設との複合化）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	トイレ改修工事を発注。		トイレ改修工事を実施した。
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和57年
建物延面積	346.18 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	105,364円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	68,730円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		174,094円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	883,256円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		883,256円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-709,162円	市民一人あたり税金充当額	-23円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,049円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,943円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	4,348	4,231	2,650	3,295	2,686	3,442	78%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	馬路まちづくりセンター			No.	148
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
有	計画名			計画期間	
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由 廃止予定

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	仁摩
地区	馬路

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	調整中
『該当する』を 選択した理由	別位置へ施設を新築し、2024年度から新馬路まちづくりセンターとして開所済み。 現施設は、塩害による施設被害が大きい上、底地の地籍が筆界未定であるため、廃止が妥当と判断される。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	新施設へ機能移転		
第2期	2024年度 施設の解体について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	用途廃止済(解体未)	
	2025年度 施設の解体について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	用途廃止済(解体未)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和57年
建物延面積	419.85 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手まちづくりセンター			No.	157
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
有	計画名				計画期間
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから、施設を維持することが必要な施設である。 当該施設は、耐震基準を満たしているものの、老朽化が進行しており、⑤複合化（近隣の公共施設との複合化）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和58年
建物延面積	565.55 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	285,300円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	103,850円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		389,150円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,036,113円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,036,113円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-646,963円	市民一人あたり税金充当額	-21円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,144円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,773円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	4,914	8,871	8,330	8,699	7,703	7,703	100%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	五十猛まちづくりセンター			No.	158	
大分類	01市民文化系施設					
小分類	まちづくりセンター					
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称				
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	西部
地区	五十猛

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当施設は、耐震基準を満たしているものの、老朽化が進行しており、⑤複合化（近隣の公共施設との複合化）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	498.12 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	165,000円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	110,337円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		275,337円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,110,660円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,110,660円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-835,323円	市民一人あたり税金充当額	-27円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,677円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,289円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	5,771	4,447	4,093	4,836	4,289	4,687	91%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大屋まちづくりセンター			No.	163
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
有	計画名			計画期間	
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	中央
地区	大屋

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当施設は、耐震基準を満たしているものの、老朽化が進行しており、⑤複合化（近隣の公共施設との複合化）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	1,171.80 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	171,500円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	113,645円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		285,145円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,351,151円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,351,151円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,066,006円	市民一人あたり税金充当額	-34円/人
	延床面積あたり税金充当額		-910円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,921円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	2,449	2,943	3,185	3,273	3,074	2,984	103%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	静岡まちづくりセンター			No.	164	
大分類	01市民文化系施設					
小分類	まちづくりセンター					
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称				
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	西部
地区	静岡

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当施設は、耐震基準を満たしているものの、老朽化が進行しており、⑤複合化（近隣の公共施設との複合化）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	570.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	258,300円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	52,365円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		310,665円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	115,500円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,909,244円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,024,744円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,714,079円	市民一人あたり税金充当額	-55円/人
	延床面積あたり税金充当額		-3,007円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-4,696円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	5,709	4,277	4,677	6,050	6,390	5,420	117%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里まちづくりセンター			No.	165	
大分類	01市民文化系施設					
小分類	まちづくりセンター					
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称				
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由	施設評価結果に基づき、作成を検討する予定。

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	湯里

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所・指定避難所であることから施設を維持することが必要な施設である。 新耐震基準を満たしており、旧湯里小学校を活用した施設であるため、当面は継続管理する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成12年
建物延面積	1,541.00 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	353,500円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	80,412円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		433,912円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	690,800円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,132,091円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,822,891円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,388,979円	市民一人あたり税金充当額	-77円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,550円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-6,545円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	6,102	7,166	7,344	6,326	5,517	6,491	84%

### 1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	波根駅集会所			No.	166
大分類	01市民文化系施設				
小分類	集会所				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
有	計画名			計画期間	
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	東部
地区	波根

### 2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	①廃止	調整中
『該当する』を 選択した理由	JRから無償譲渡を受けた施設だが、JRは行政以外の譲渡は認めていない。 建築から長い年月が経っているため、廃止する方向であるが、継続的な利用・管理が担保されるのであれば、耐震補強あるいは規模縮小建替えを検討する。								

### 3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。

※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2030年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		地元譲渡の可否、耐震補強あるいは規模縮小について検討
第2期	2024年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議、利用者等への説明)	目標未達成(取組中)	地元譲渡の可否、耐震補強あるいは規模縮小について検討
	2025年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議、利用者等への説明)	目標未達成(取組中)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成12年
建物延面積	90.09 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	大田市小規模集会所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	旧駅舎の活用により地域の振興と発展を図り、もって住民の福祉の充実進展に寄与することを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	122,370円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	10,120円	保険料、浄化槽 法定検査手数料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		132,490円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-132,490円	市民一人あたり税金充当額	-4円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,471円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-363円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	347	225	285	404	407	333	122%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手駅集会所		No.	167
大分類	01市民文化系施設			
小分類	集会所			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	R6.11.12解体実施済み								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2024年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		協議の結果解体が決定。解体に向けてJR等関係機関と調整が必要。
第2期	2024年度	目標・取組を達成	仮設待合所の撤去時期について、JR等関係機関と調整が必要。
	2025年度		
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成10年
建物延面積	98.98 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
ls値	—
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	大田市小規模集会所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	旧駅舎の活用により地域の振興と発展を図り、もって住民の福祉の充実進展に寄与することを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	95,257円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,269円	保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		96,526円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-96,526円	市民一人あたり税金充当額	-3円/人
	延床面積あたり税金充当額		-975円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-264円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	335	413	404	243	266	332	80%

### 1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	静岡駅集会所			No.	168
大分類	01市民文化系施設				
小分類	集会所				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	西部
地区	静岡

### 2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	①廃止	調整中
『該当する』を 選択した理由	JRから無償譲渡を受けた施設だが、JRは行政以外の譲渡は認めていない。 建築から長い年月が経っているため、廃止する方向であるが、継続的な利用・管理が担保されるのであれば、耐震補強あるいは規模縮小建替えを検討する。								

### 3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。

※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2030年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		地元譲渡の可否、耐震補強あるいは規模縮小について検討
第2期	2024年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議、利用者等への説明)	目標未達成(取組中)	地元譲渡の可否、耐震補強あるいは規模縮小について検討
	2025年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議、利用者等への説明)	目標未達成(取組中)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	120.49 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
ls値	—
摘要欄	浸水深：0.5m未満 急傾斜地の崩壊：警戒区域

関連条例等	大田市小規模集会所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	旧駅舎の活用により地域の振興と発展を図り、もって住民の福祉の充実進展に寄与することを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	149,027円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	70,400円	トイレ水栓部と合併浄化槽707-の修繕	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	10,292円	保険料、浄化槽法定検査手数料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		229,719円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-229,719円	市民一人あたり税金充当額	-7円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,907円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-629円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	287	349	159	643	868	461	188%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市駅前自転車等駐輪場			No.	169
大分類	14その他（普通財産を含む）				
小分類	駐車場・駐輪場				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	⑥縮小建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	JR利用者用の駐輪場は、JRが整備しないため、市において施設を整備、維持管理する必要がある。近年の少子高齢化、モータリゼーションの進展、飛行機等の輸送機関との競争等により、JR利用者が減少していることから、大規模修繕が必要になった場合は縮小建替えを行う。 R7年度に施設老朽化のため構造材等の改修工事を行う。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
第2期	2024年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	目標未達成(取組中)	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
	2025年度 施設老朽化のため改修工事を行う	目標未達成(取組中)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成15年
建物延面積	210.39 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	大田市自転車等駐輪場の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	良好な生活環境を確保し、自転車等の利用者の利便を図るため、自転車等駐輪場を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	110,000円	外灯用制御設備の修繕	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	7,226円	保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		117,226円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-117,226円	市民一人あたり税金充当額	-4円/人
	延床面積あたり税金充当額		-557円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-321円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津駅前自転車等駐輪場			No.	170
大分類	14その他（普通財産を含む）				
小分類	駐車場・駐輪場				
個別施設計画（長寿命化計画）の策定有無	なし	個別施設計画（長寿命化計画）マニュアル・ガイドラインの名称			
有	計画名				計画期間
無	策定期限		今後の策定予定の有無	あり	策定しない場合理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課方針	関係者調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	⑥縮小建替え	開始前
『該当する』を選択した理由	JR利用者用の駐輪場は、JRが整備しないため、市において施設を整備、維持管理する必要がある。近年の少子高齢化、モータリゼーションの進展、飛行機等の輸送機関との競争等により、JR利用者が減少していることから、大規模修繕が必要になった場合は縮小建替えを行う。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
 ※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期(2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
第2期	2024年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	目標未達成(取組中)	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
	2025年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	目標未達成(取組中)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	56.74 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	大田市自転車等駐輪場の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	良好な生活環境を確保し、自転車等の利用者の利便を図るため、自転車等駐輪場を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	89,543円	保険料、電気代、賃借料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		89,543円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-89,543円	市民一人あたり税金充当額	-3円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,578円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-245円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁万駅前自転車等駐輪場		No.	171
大分類	14その他（普通財産を含む）			
小分類	駐車場・駐輪場			
個別施設計画（長寿命化計画）の策定有無	なし	個別施設計画（長寿命化計画）マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
無	策定期限	今後の策定予定の有無	あり	策定しない場合理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課方針	関係者調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	⑥縮小建替え	開始前
『該当する』を選択した理由	JR利用者用の駐輪場は、JRが整備しないため、市において施設を整備、維持管理する必要がある。近年の少子高齢化、モータリゼーションの進展、飛行機等の輸送機関との競争等により、JR利用者が減少していることから、大規模修繕が必要になった場合は縮小建替えを行う。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
 ※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期(2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
第2期	2024年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	目標未達成(取組中)	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
	2025年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議) 支柱の腐食により3つの駐輪場のうち2つを緊急撤去	目標未達成(取組中)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成3年
建物延面積	70.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
ls値	—
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	大田市自転車等駐輪場の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	良好な生活環境を確保し、自転車等の利用者の利便を図るため、自転車等駐輪場を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,200円	保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,200円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,200円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-17円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-3円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

### 1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津線バス車庫			No.	172
大分類	14その他（普通財産を含む）				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

### 2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	調整中
『該当する』を 選択した理由	建物更新の予定はなく、老朽化により解体が必要となった際には解体する。								

### 3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		解体の方針が決定したが、解体の時期については、検討が必要。
第2期	2024年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	目標未達成(取組中)	解体の方針が決定したが、解体の時期については、検討が必要。
	2025年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	目標未達成(取組中)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和59年
建物延面積	32.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	急傾斜の崩壊：警戒区域

関連条例等	—
設置(目的等)	大田市生活バス温泉津線のバス車庫
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	21,595円	保険料、水道料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		21,595円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-21,595円	市民一人あたり税金充当額	-1円/人
	延床面積あたり税金充当額		-675円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-59円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	福光駅ふれあいギャラリー			No.	173
大分類	14その他（普通財産を含む）				
小分類	その他				
個別施設計画 （長寿命化計画） の策定有無	なし	個別施設計画（長寿命化計画） マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	福波

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	平成16年に新たなJR石見福光駅（福光駅ふれあいギャラリー）の建て替えを行ったので、当面大規模修繕はないが、将来、大規模修繕の必要が生じた時には、JR利用者の減少に併せて廃止あるいは縮小建替えを行う。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
第2期	2024年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	目標未達成(取組中)	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
	2025年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	目標未達成(取組中)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成16年
建物延面積	70.70 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	—
設置(目的等)	J R石見福光駅舎の解体により、利用者の利便性を図るため、新たな施設として建設した。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
収入	①使用料収入				施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金				国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他				使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計				※グレーのセルは自動計算されます。	
		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
支出	①指定管理料				指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用				施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	169,942円		保険料、トイレ掃除、汚水処理施設管理委託料、浄化槽法定検査手数料、電気代、水道	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		169,942円		※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-169,942円		市民一人あたり税金充当額	-5円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,404円/㎡		1日あたり税金充当額(休館日含)	-466円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里ふるさと歴史館			No.	174
大分類	14その他（普通財産を含む）				
小分類	その他				
個別施設計画（長寿命化計画）の策定有無	なし	個別施設計画（長寿命化計画）マニュアル・ガイドラインの名称			
有	計画名				計画期間
無	策定期限		今後の策定予定の有無	あり	策定しない場合理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	湯里

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課方針	関係者調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を選択した理由	平成17年に新たなJR湯里駅（湯里ふるさと歴史館）の建て替えを行ったので、当面大規模修繕はないが、将来、大規模修繕の必要が生じた時には、JR利用者の減少に併せて廃止あるいは縮小建替えを行う。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期(2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
第2期	2024年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	目標未達成(取組中)	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
	2025年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	目標未達成(取組中)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成17年
建物延面積	48.60 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	急傾斜地の崩壊：特別警戒区域

関連条例等	—
設置(目的等)	JR湯里駅舎の解体により、利用者の利便性を図るため、新たな施設として建設した。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	94,600円	防犯灯、トイレ水漏れ修繕	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	192,786円	保険料、トイレ掃除、汚水処理施設管理委託料、浄化槽法定検査手数料、電気代、水道	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		287,386円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-287,386円	市民一人あたり税金充当額	-9円/人
	延床面積あたり税金充当額		-5,913円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-787円/日

## (3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁万駅公衆便所			No.	175
大分類	14その他（普通財産を含む）				
小分類	公衆便所				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	⑥縮小建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	JRから譲渡されたトイレを平成9年に改修を行ったので、当面大規模修繕はないが、将来、大規模修繕の必要が生じた時には、JR利用者の減少に併せて縮小建替えを行う。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
第2期	2024年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	目標未達成(取組中)	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
	2025年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	目標未達成(取組中)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	27.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	警戒区域設定なし

関連条例等	—
設置(目的等)	旧JR仁万駅に設置されていたJR所有のトイレをJRより譲渡され利用者のために活用する。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
収入	①使用料収入				施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金				国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他				使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計				※グレーのセルは自動計算されます。	
		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
支出	①指定管理料				指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	61,600円		トイレ照明設備 修繕	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	279,699円		保険料、トイレ掃除、汚水処理施設管理委託料、浄化槽法定検査手数料、電気代、水道	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			341,299円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			-341,299円	市民一人あたり税金充当額	-11円/人
	延床面積あたり税金充当額			-12,641円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-935円/日

## (3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市駅トイレ			No.	176
大分類	14その他（普通財産を含む）				
小分類	公衆便所				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	⑥縮小建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	平成21年に改修を行ったので、当面大規模修繕はないが、将来、大規模修繕の必要が生じた時には、JR利用者の減少に併せて縮小建替えを行う。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)		施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
第2期	2024年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	目標未達成(取組中)	施設の在り方について検討 (関係機関で協議)
	2025年度 施設の在り方について検討 (関係機関で協議)	目標未達成(取組中)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成21年
建物延面積	21.08 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	世界遺産登録を機会に大田市の玄関口にふさわしい駅の改善を図る。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	411,400円	トイレ照明、暖房便座、温水器	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	702,206円	保険料、トイレ掃除、汚水処理施設管理委託料、電気代、水道料、消耗品	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,113,606円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,113,606円	市民一人あたり税金充当額	-36円/人
	延床面積あたり税金充当額		-52,828円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-3,051円/日

## (3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	川合まちづくりセンター			No.	178
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	中央
地区	川合

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当施設は、耐震基準及び建築基準法の基準を満たしておらず、⑤複合化（川合小学校等との複合化）または⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて、 学校再編等の状況を考慮しながら、引き続き検討していく必要がある。なお、国道375号線線形改良に伴う支障移転対象になる可能性あり。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	学校再編等の状況を考慮し、整備の方向性を改めて決定する。
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和59年
建物延面積	353.52 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	120,700円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	45,520円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		166,220円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	823,456円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		823,456円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-657,236円	市民一人あたり税金充当額	-21円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,859円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,801円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	5,383	5,471	5,770	6,513	6,696	5,966	112%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	朝山まちづくりセンター			No.	179	
大分類	01市民文化系施設					
小分類	まちづくりセンター					
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称				
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	東部
地区	朝山

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当施設は、耐震基準を満たしているものの、老朽化が進行しており、⑤複合化（近隣の公共施設との複合化）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和63年
建物延面積	213.18 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	90,700円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	477,280円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		567,980円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	778,250円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	631,882円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,410,132円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-842,152円	市民一人あたり税金充当額	-27円/人
	延床面積あたり税金充当額		-3,950円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,307円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	1,086	1,259	1,550	2,082	2,127	1,620	131%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	長久まちづくりセンター			No.	180	
大分類	01市民文化系施設					
小分類	まちづくりセンター					
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称				
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由	施設評価結果に基づき、作成を検討する予定。

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当施設は、耐震基準を満たしているものの、老朽化が進行しており、⑤複合化（近隣の公共施設との複合化）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和63年
建物延面積	482.08 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	251,900円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	60,850円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		312,750円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	69,300円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,121,700円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,191,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-878,250円	市民一人あたり税金充当額	-28円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,822円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,406円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	10,076	11,421	10,317	10,768	11,452	10,806	105%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	池田まちづくりセンター			No.	181	
大分類	01市民文化系施設					
小分類	まちづくりセンター					
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称				
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由	施設評価結果に基づき、作成を検討する予定。

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	三瓶
地区	池田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当施設は、耐震基準を満たしているものの、老朽化が進行しており、⑤複合化（近隣の公共施設との複合化）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和61年
建物延面積	295.80 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	41,700円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	22,470円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		64,170円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	646,881円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		646,881円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-582,711円	市民一人あたり税金充当額	-19円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,970円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,596円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	2,495	1,686	1,657	2,203	1,934	1,995	96%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	祖式まちづくりセンター			No.	182	
大分類	01市民文化系施設					
小分類	まちづくりセンター					
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称				
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	高山
地区	祖式

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当施設は、耐震基準を満たしているものの、老朽化が進行しており、⑤複合化（近隣の公共施設との複合化）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成8年
建物延面積	230.25 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	40,200円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	60,680円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		100,880円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	2,421,100円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,133,011円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		3,554,111円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-3,453,231円	市民一人あたり税金充当額	-111円/人
	延床面積あたり税金充当額		-14,998円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-9,461円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	940	1,054	1,428	1,139	1,642	1,240	132%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	福波まちづくりセンター			No.	183
大分類	01市民文化系施設				
小分類	まちづくりセンター				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	福波

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当施設は、温泉津小学校の一部を活用しているものの、老朽化が進行しており、⑤複合化（近隣の公共施設との複合化）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかについて検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内関係部署による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成8年
建物延面積	345.75 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	78,600円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	69,170円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		147,770円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	699,249円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		699,249円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-551,479円	市民一人あたり税金充当額	-18円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,595円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,511円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	1,656	2,477	2,647	2,246	1,997	2,204	90%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	小浜会館		No.	184
大分類	01市民文化系施設			
小分類	集会所			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
有	計画名			計画期間
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	なし
				策定しない場合 理由
地域移管済				

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	2023年度に地域移管済								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設管理者、地元関係者等と協議		2023年度に地域移管済
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成20年
建物延面積	106.50 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
ls値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市小規模集会所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	地域住民の生活、文化の向上を図るため。
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里中央会館			No.	185
大分類	01市民文化系施設				
小分類	集会所				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	湯里

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	現時点では今後の利用見込みが無く、倉庫として活用している。 民間・地域移管の可能性について、今後検討が必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内及び地域による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内及び地域による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内及び地域による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	530.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	宅野まちづくりセンター倉庫(旧仁摩町有線放送電話協会宅野支局)		No.	186
大分類	14その他(普通財産を含む)			
小分類	その他			
個別施設計画(長寿命化計画)の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画)マニュアル・ガイドラインの名称		
有	計画名			計画期間
無	策定期限	—	今後の策定予定の有無	あり

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	仁摩
地区	宅野

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課方針	関係者調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	開始前
『該当する』を選択した理由	まちづくりセンターの倉庫として利用。老朽化により使用不可となった時点で廃止する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
 ※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期(2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内及び地域による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内及び地域による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内及び地域による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	9.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	826円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		826円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-826円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-92円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田まちづくりセンター（旧井田小学校内）			No.	187	
大分類	01市民文化系施設					
小分類	まちづくりセンター					
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称				
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	政策企画部まちづくり定住課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	まちづくりセンターは地域コミュニティ施設であるとともに、災害時の指定緊急避難場所であることから施設を維持することが必要な施設である。 当該施設は、旧井田小学校活を用いているものの、老朽化が進行しており、⑤複合化（近隣の公共施設との複合化）、⑥縮小建替え（適正規模の施設）のいずれかに ついて検討していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031 年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の在り方について方針の決定 (庁内及び地域による協議)		
第2期	2024年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内及び地域による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2025年度 施設の在り方について方針の決定 (庁内及び地域による協議)	目標未達成(取組なし)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成10年
建物延面積	776.00 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	大田市内の各地域の課題解決に向けた自主的な取り組みを支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	47,600円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	66,380円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		113,980円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	62,700円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,474,987円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,537,687円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,423,707円	市民一人あたり税金充当額	-78円/人
	延床面積あたり税金充当額		-3,123円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-6,640円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	2,066	3,144	3,627	3,964	4,274	3,415	125%